

## (長岡京市) 自分ごと化会議 in 長岡京 第3回議事メモ

分科会	第4分科会
コーディネーター	石渡 秀朗 (いしわた ひであき)
ナビゲーター	なし
説明担当者 (自治体)	なし
日時	2021年7月4日 (日) 14時00分から 16時30分
場所	市立図書館3階 会議室
その他	参加者数 <u>15名</u> 欠席者数 <u>12名</u>

## 総括

## コーディネーター総括

- 第2回までに出てきた課題と取組みを4つのテーマに分けてグループワークを行った。
- 1班では、「家庭環境に関する課題」について議論し、いじめの問題から、子どもが相談しにくい現状と、親の相談できる場がないことが挙げられ、様々な悩みや医療などを相談できる場が必要だと話し合われた。
- 2班では、「子どもや保護者の居場所づくりに関する課題」について議論し、子どもや障がい者の居場所が少なく、SNSが居場所になっている現状に対し、地域が外の遊び場を提供していくことが話し合われた。
- 3班では、「子ども同士や世代間交流に関する課題」について議論し、世代間の交流はたくさんあるが、知られていない、または参加に不安があるという現状から、情報発信を含め地域コミュニティ協議会を中心にした取組みについて話し合われた。
- 4班では、「親子の健康や保健に関する課題」について議論し、周りに子供の面倒を見てもらえる人がいないという現状から、地域の繋がりを大切にし、地域と行政でサポートする仕組みについて話し合われた。

## 主な論点

## ・グループワーク

テーマ①「家庭環境に関する課題」

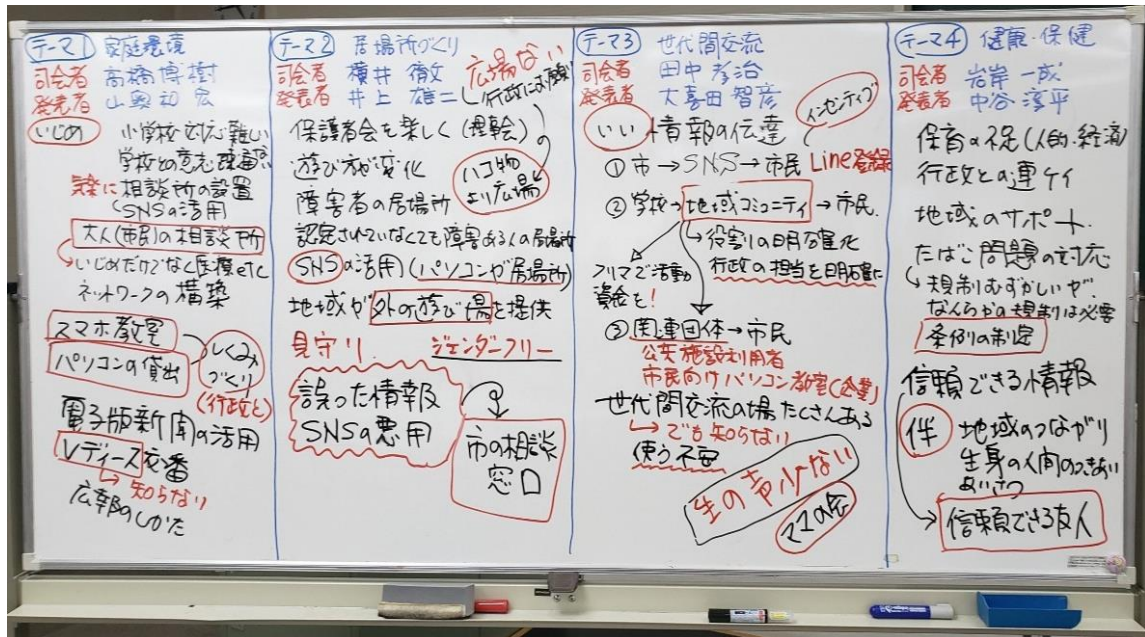
テーマ②「子どもや保護者の居場所づくりに関する課題」

テーマ③「子ども同士や世代間交流に関する課題」

テーマ④「親子の健康や保健に関する課題」

## ・全体での共有・議論

ホワイトボードの写真



協議の流れ

コ) 今回から4つのテーマにグループ分けを行い、グループで話し合いをしていただく。

- テーマ①「家庭環境に関する課題」
- テーマ②「子どもや保護者の居場所づくりに関する課題」
- テーマ③「子ども同士や世代間交流に関する課題」
- テーマ④「親子の健康や保健に関する課題」

グループワーク後に発表をしていただき、全体で議論を行う。グループでは自己紹介をしていただいた後、司会と発表者を決めていただきたい。

1班) まずはいじめについての議論になった。いじめと悪ふざけの境界線があいまい。グレイの部分について地域で対応できないか。地域の塾やクラブなどに、いろいろな人が気軽に相談できる場があればいい。先生や家には相談しにくいこともある。オンラインやSNSの活用もできればいい。大人が相談できる場も必要。昔はお寺や地域の方が相談に乗っていたが、今はそういった場がない。悩み以外にも、医療関係、行政、学校の問題を相談できる場やネットワークが必要。

2班) 学童保育を利用している保護者の飲み会では役の分担などの話がまとまりやすい。昔は山や川、空き地で遊んでいたが、今はそういった場所が少ない。遊びの形態も変わり、子どもの数も減った。

委): 委員、コ): コーディネーター、ナ): ナビゲーター、市): 説明担当者

障がい者の居場所も少ないのでもっと必要。また、障がい者だと認定される方だけでなく、グレーゾーンの方も数が多いはず。

自治会の加入率が低下している。飲み会などを開いて大人の居場所となる楽しい自治会運営ができないか。

現代では孤独を感じる方が多い。SNSに居場所を求めているのかもしれない。

3班) いい情報をどうやって市民に伝えていくかという話になった。

市から市民へ伝達する場合は、SNSを活用すると良いのではないか。市の公式LINEに登録するメリットを付与するなどして、登録を促す。

地域コミュニティからの情報発信については、地域コミュニティがない校区もあるので、条例で各学校に地域コミュニティをつくることを示し、地域コミュニティから回覧などで発信してもらう。地域コミュニティが何をするのかを明確にし、管轄する市がしっかりと成り立たせる。また資金を稼ぐことも重要。フリーマーケットを開くなど。

また、学校の施設を借りている団体は、地域コミュニティから施設を借りるという仕組みに統一して、地域コミュニティからの依頼に対応する。地域の子どもにスポーツの教室を開くなど。市内の企業も地域コミュニティの下でPC教室を開くなどの取り組みをしてもらう。

4班) 保育所、学校が休みだと親の収入が減ってしまう。周りに子どもの面倒を見てもらえる人がいない。ひとり親は仕事に行きにくい。もし預かってもらった先で子どもが怪我した場合の補償はどうなるのか。地域と行政が連携し、サポートできるしくみを作るべき。

受動喫煙防止について、子どもと母親の健康を守るために、路上喫煙の禁止、母親の禁煙をサポートする。通学時など、時間指定の禁煙の制度をつくるのはどうか。

コ) 気になった点やご意見があればお伺いしたい。

委) テーマ②の居場所づくりについて、地域が動く必要があるのではないかと思う。目が届く外遊びの環境が必要。昔は自然発生であったが、今は責任までとはいかなくとも役割をもって子どもを見守る仕組みが必要なのではないかを感じる。

委) PC・SNSの活用方法について。市民への貸し出しやスマホ教室などで連鎖していくような取り組みを行政が中心にできれば、行政と市民が近づくのではないかと思う。

委) SNSに居場所を求めることは、メリット・デメリット両方あると思う。悪いことをしている子でも、直接話すと純粋でいい子。誤った情報、知識を積み重ねてしまう。

委) 情報のリテラシーを高める。市民運動会やコミュニティや夏祭りなど、世代間の交流の場が実は沢山あるが、知らなかった。SNSなどを活用していないから知らないのかも。悪用されるのではないかという不安感で踏み込めない人もいる。安心できる材料

があれば。

- 委) 電子版新聞などで、一つの問題でも各社ごとに意見が異なるという例をつかむ。ジェンダーフリーやパートナーシップ制度など、時間をかけて理解していくことが必要。
- 委) SNS を利用はするが、情報の速さが重視されており、正確性はあまりないと思っている。
- コ) 間違った情報の判断はどうやってするのか。
- 委) 記事によって内容が全然違う。読む記事によって思考が偏ってしまう。結局は自分で判断するしかないと思う。
- 委) SNS の記事はしっかりとした資料がついているものを信用するようにしている。  
SNS もいいが生身の人間との付き合いや絆を大事にしたい。そのためには挨拶が大切。
- 委) 孫との遊ぶ広場が市内にないように感じる。ベンチがあり、弁当を食べられるような場所。トイレも欲しい。市内にないので電車に乗らないといけない。建屋だけ作っても遊べない。たこあげする場がない。西代里山公園は広いが、バスに乗らないといけない。そういった場作りを考えてほしい。
- 委) 西山天王山駅前の交番がレディース交番（常時女性が駐在している）であるということを知らなかった。いいことなのに知らない人が多い。広報の仕方が大事だと思った。
- 委) キャンセル料を請求されたときに、SNS で行政相談（消費者相談）の場につながることもできた。SNS で正しいところとつながることもできる。自分がほしい情報をどう取得できるか。
- 委) 興味本位で SNS にのめり込んでしまう怖さがある。正しい知識を身に着けたいと思うが、どのように身につけるのかということに悩むのでは。信頼できる人がいると判断できることも。
- 委) 今回は多くの意見のはきだしができたと思うが、まだ煮え切っていない印象。子育ての生の声（ママの声）があまり聞けていないのでは。現役のママや、子育ての問題に取り組んでいる NPO の方に来てもらい生の声を聞く必要がある。自分たちの意見が推測になってしまうので。

#### 次回の分科会に向けた準備

#### 次回の分科会の進め方

- 今日の話をもとめたうえで、条例の策定につながる議論を行う。